

フィールド調査 (2 単位)

担当者氏名 全専攻教員

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

修士論文を作成するためには、必要に応じてフィールド調査等を実施し、要求される精度の下でデータを取得するとともに、取得データを適切に処理しなければならない。本科目では、専修毎のフィールド調査の計画、実施、解析を通して、論理的思考能力、コミュニケーション能力などの獲得を到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用工学	農村環境工学	広域環境情報学	地水環境工学
社会基盤工学	水利施設工学	バイオロボティクス	農産加工流通工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	既往文献による調査手法の抽出(第1～第3週)	研究テーマに即したキーワードによる文献検索および文献通読による調査方法の確認	予習としてフィールドの各種特徴を調べてから現地を訪問すること。学部時代に実施した調査での反省点を予習しておくこと。
2	既往文献によるデータ処理方法の抽出(第4～第6週)	文献通読によるデータ処理方法の確認および文献データを用いた処理方法の確認	
3	調査手順の確認および計画の立案(第7～第8週)	テキストおよび参考書による調査手順の確認および現地の状況に応じた調査計画の立案	
4	調査計画に基づく調査の実施(第9～第13週)	第7～第8週で立案した調査計画に基づく調査の実施および実施上の問題点の抽出	
5	調査データの解析(第14～第15週)	第4～第6週で抽出したデータ処理方法に基づく調査データの解析およびエラーの検討	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートにより評価する

◆オフィスアワー

授業終了後1時間、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

本科目は、定期的に関講するよりも集中的に行うことで学習効果が向上するものであるため、履修にあたっては指導教員と十分に相談し、授業計画を決定すること。